

秋晴れのもと

第33回よつといで祭開催される

9月20日(日)朝10時から昼3時30分まで、千里南公園において、第33回よつといで祭が盛大に開催されました。業者広場の今回の本部企画は、紙芝居とストラックアウトでした。ストラックアウトは、月田副会長の場を盛り上げる進行で、多くの小さな子どもたちが賑やかに楽しみました。的をめがけて真剣にボールを放る子、投げる仕草がかわいらしい子、会場と一体となって取り組まれました。

今年の新しい企画では、紙芝居が行われました。岡崎副会長の妻の岡崎夏子さんが身振り手振りで子どもたちを喜ばせ、声色を変えての熱演に、身を乗り出して子どもたちは、聞き入っていました。

今年も天候も良く、模擬店も大盛況でした。中央支部はフランクフルトと飲み物。北支部は恒例の焼きそば、ホルモン焼きうどん、かき氷、アイスクリーム。千里丘支部はコロッケ、から揚げ。江坂東支部は綿菓子、スーパードール、飲み物。江坂西支部は飲み物。千里山支部はフランクフルト、カレー。

また岡崎副会長の本の販売と後藤副会長のミニ畳の製作が子どもたちの人気を集めていました。あわせて消費税増税中止の署名とマイナンバー実施中止の署名も祭参加者によりかけました。



講座に参加して事業計画作成を

事業計画書作成連続講座のプレ企画として、昨年の講座で今年の事業計画書を作成した建設機械のレンタル・修理・販売の塚本さん、美容業の竹田副会長、畳製造販売の後藤副会長の実践報告会を行いました。

事業計画に沿った行動で取引先を拡大

事業計画を作成して3年目になる塚本さんは、メーカーの指定修理店になったことで、修理の仕事で忙しくなり丁寧に仕事をできる環境づくりを方針として実践していること、今年の目標に掲げていた取引先の拡大も9月に実現したと報告がありました。塚本さんは今回の報告のために、事業計画書を見直し到達状況を確認したことで手つかずになっていた課題の整理もできたと話していました。参加者からは溶接加工のオーダーメイドの事業について、フェイスブックの活用を勧める意見もありました。

顧客のための店づくりを追求

竹田さんは今年5月に事業計画を変更したことを報告。自分とともに年齢を重ねる顧客のために髪の質を改善する「おばちゃん専用美容室」として事業計画を作り直しました。仕入も天然素材のものへの切り替えで仕入価格が上がるため、客単価を引き上げるとともに、自らの利益を減らす計画です。竹田さんは自らの仕事に対するジレンマを見つめ直して出した結果と報告されていました。

業界のことも考えた「三方よし」の事業計画

後藤さんは仕入価格の上昇に伴う価格決定権を維持する取り組みや、福祉施設からの職業体験受け入れの取り組み、畳の啓発のためのイベント活動など様々な営業活動について報告されました。工務店などから受けるリフォームでの畳の納品が、最安値の中国製イ草畳になっている現状に対して、工務店に代わって施主に畳の品質を説明する「営業代行」を始めたそうです。また9年後に目標にしているドイツへの海外進出についても、いろんな方から助言をもらっていることも報告されていました。

事業計画書作成講座のご案内

学習、交流、実践を通して参加者同士で学びあう講座です。今年は今を生き抜く生業(なりわい)塾・自分できる実践編として全国商工新聞の石田レポートを活用して進めます。ぜひ参加してください。

平日夜コース(夜7時00分)
10月7日(水)20日(火)11月6日(金)・19日(木)
日曜朝コース(朝8時30分)
10月11日(日)・11月8日(日)

(日曜朝コースは参加希望者4名以上から開催します)

参加費 1000円(青年部員500円)

会場 吹田民商会館

商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう
会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう